

平成31年教育長年頭所感

〔「教育家庭新聞」掲載記事〕

本県では、「未来を拓く子どもたちの育成」を教育振興の柱に掲げ、知・徳・体の調和が取れた、たくましく生きる力を身に付けられるよう、各種教育施策を推進しているところです。

学習面では、基礎と応用のバランスに配慮した確かな学力の定着・向上に努め、全国上位の学力水準を維持するとともに、新学習指導要領への対応として、英語教育の充実をはじめ、プログラミング的思考力の育成や、高大接続改革の動きを見据えた対応など、新しい教育に向けた取組みを進めております。

また、キャリア教育の充実にも重点を置き、2年目となりました、5日間の中学生の職場体験学習「えひめジョブチャレンジU-15」事業では、生徒の成長や受け入れ企業からの確かな手応えを感じております。今後も一層の普及に努め、来年度は全中学校での実施を目指すとともに、県内産業・企業の魅力を実感することによって、若年人口の将来の地元定着につながることも大いに期待しています。

さらに、安全・安心の教育環境の整備として、問題のあるブロック塀の対策やエアコンの整備を進めるほか、ICT教育設備の充実にも取り組んでいくこととしています。

そして、教員の働き方改革にも積極的に取り組みながら、本年も、子どもたちと教員の愛顔あふれる愛顔づくりを推進していきたいと考えています。